

公共交通推進及び図柄入りナンバープレートに関する アンケート調査の集計結果について

このアンケートは、仙台市都市整備局公共交通推進課及びまちづくり政策局政策調整課が、市政モニターのみなさまの協力のもとに実施し、189名の皆様から回答をいただきました。

ご協力いただいた市政モニターのみなさまに感謝申し上げます。

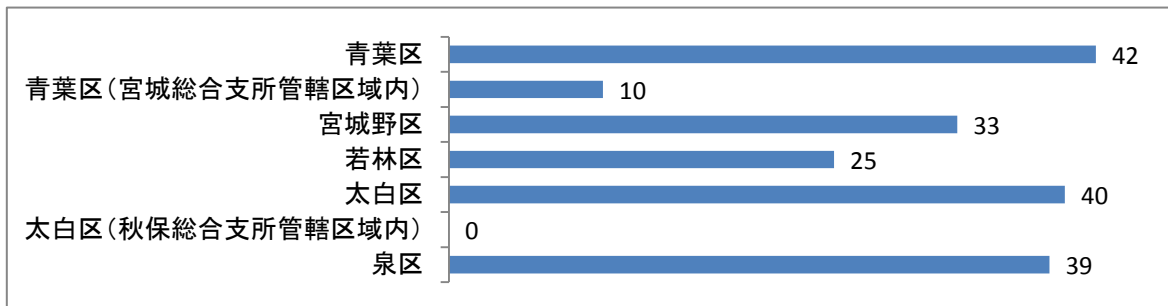
以下に、アンケートの結果をご報告します。

公共交通推進課・政策調整課

【回答者の属性等について】

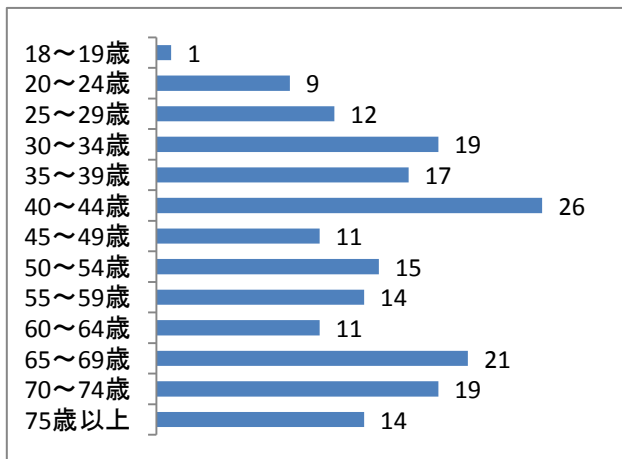
① 居住区域

回答数 N=189



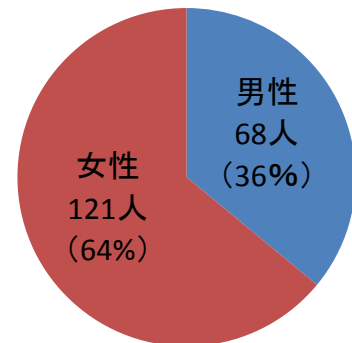
② 年齢層

回答数 N=189



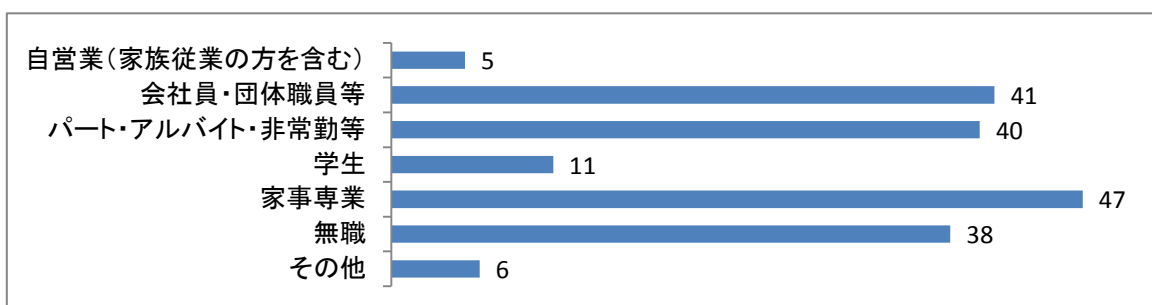
③ 性別

回答数 N=189



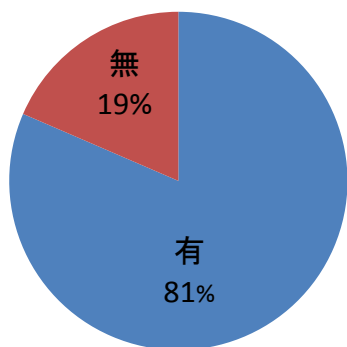
④ 職業

回答数 N=188



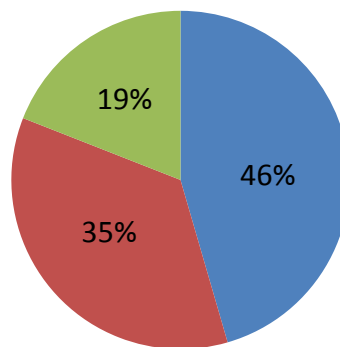
⑤ 免許の有無

回答数 N=189



⑥ 自動車の所有状況

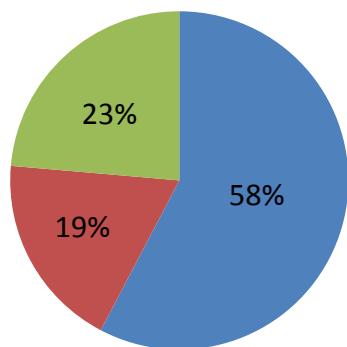
回答数 N=189



- 所有している
- 同居する家族が所有している
- 同居する家族も含めて所有していない

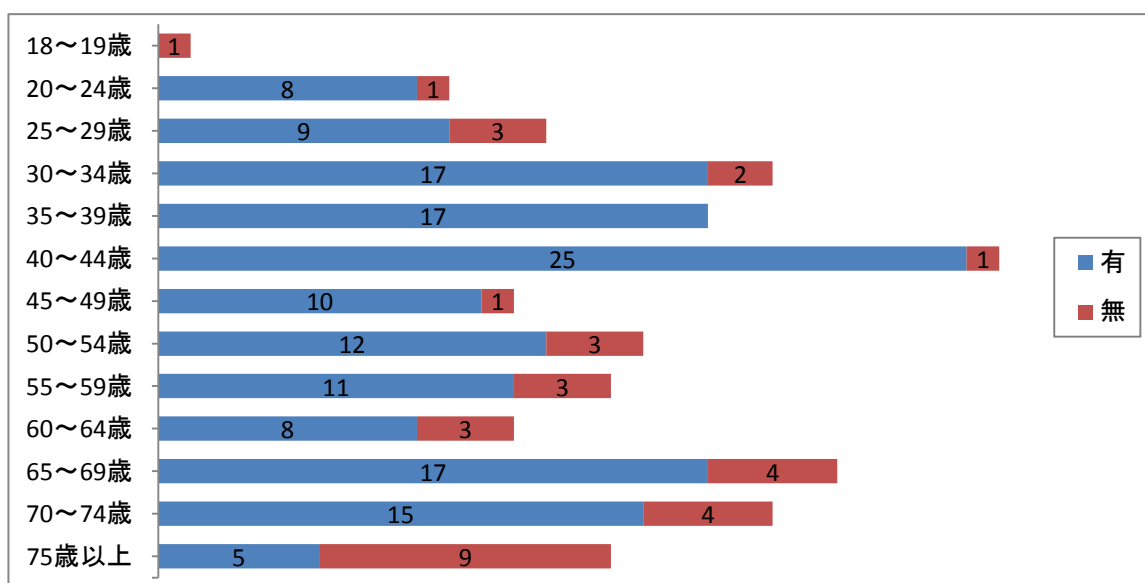
⑦ 車の利用状況

回答数 N=182

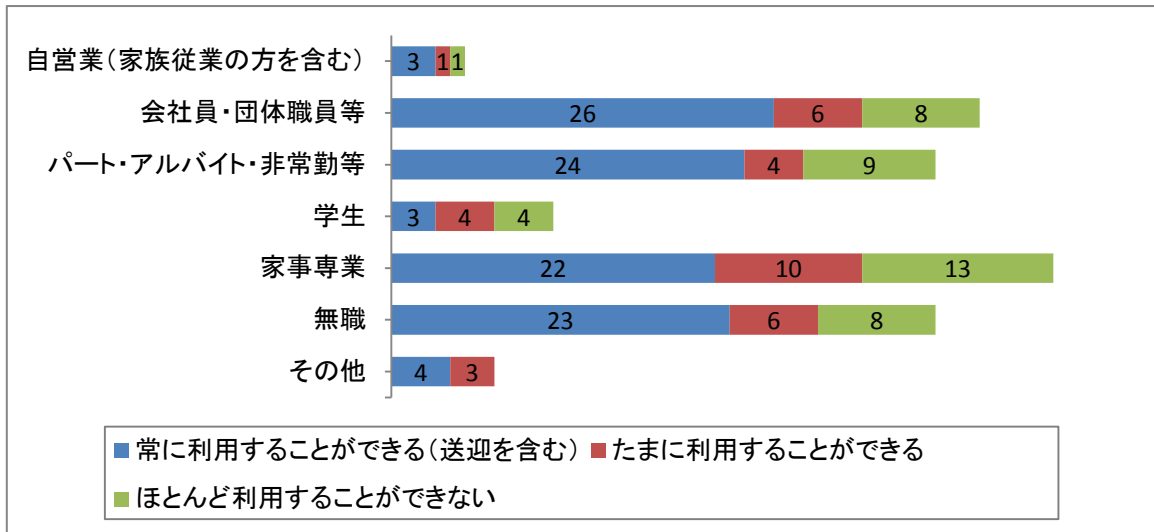


- 常に利用することができる(送迎を含む)
- たまに利用することができる
- ほとんど利用することができない

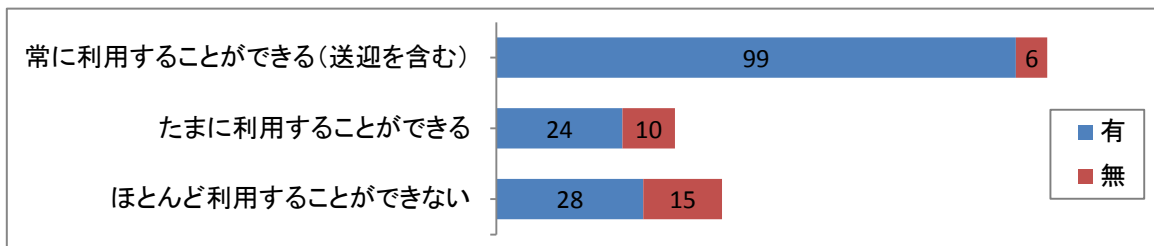
⑧ 年齢層別の免許の有無



⑨ 職業と車の利用状況



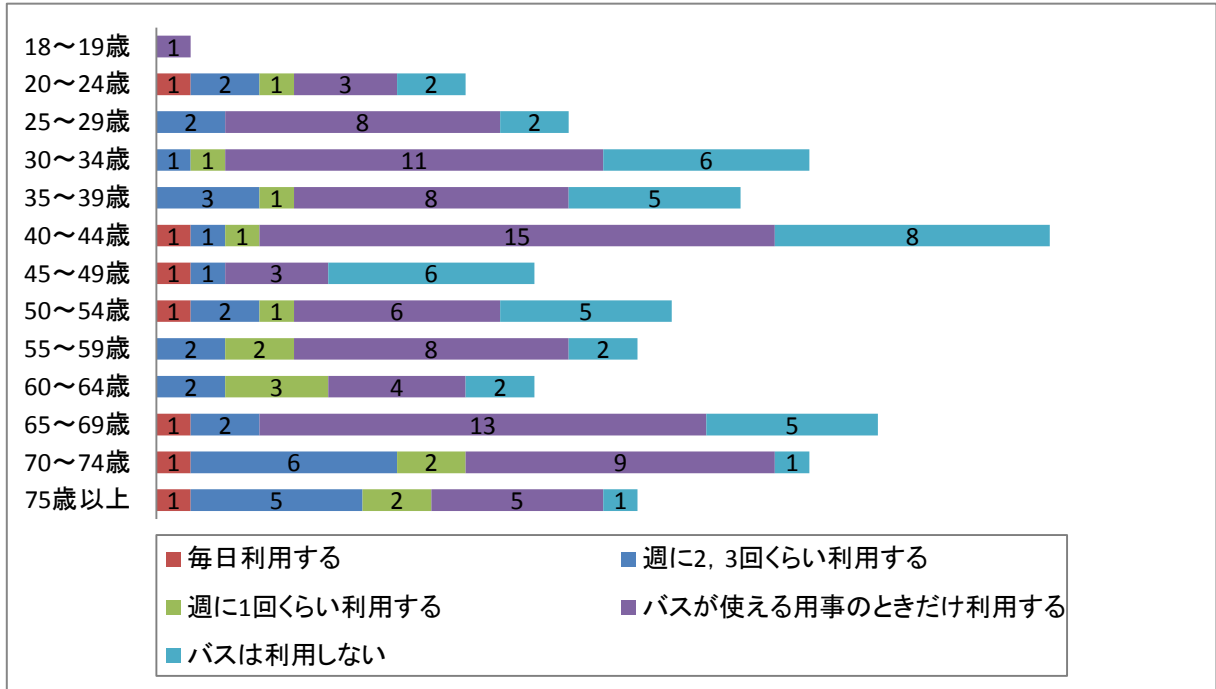
⑩ 車の利用状況と免許の有無



1 バスサービスについて

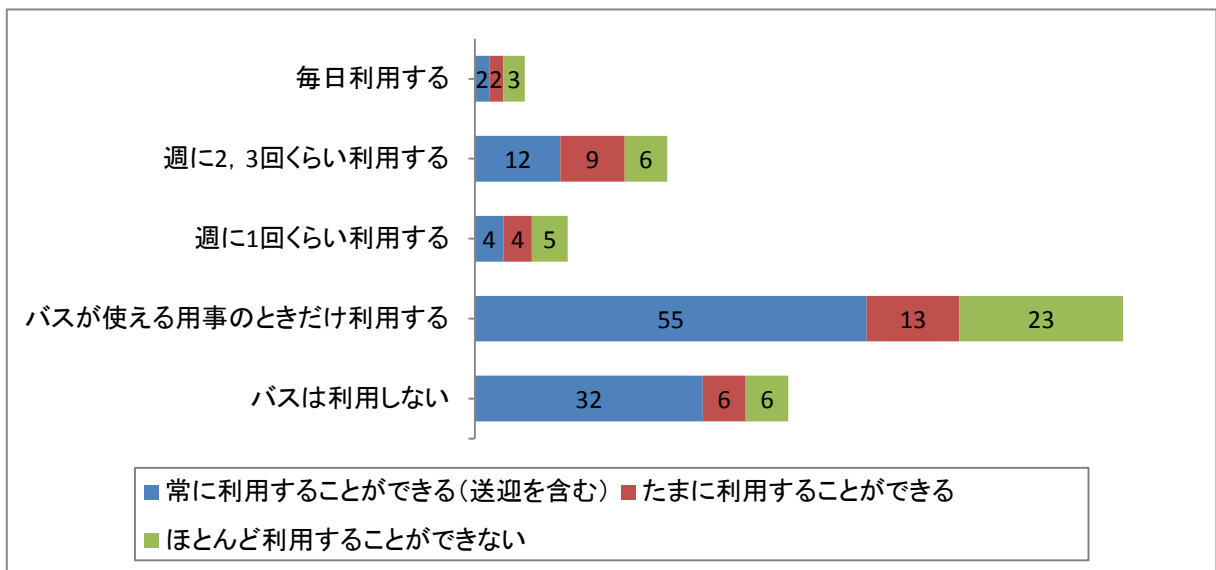
現在のバスサービスが皆様にとってどの程度満足できるものとなっているかをお伺いする質問に回答していただきました。

(1) 年齢層別のバスの利用頻度



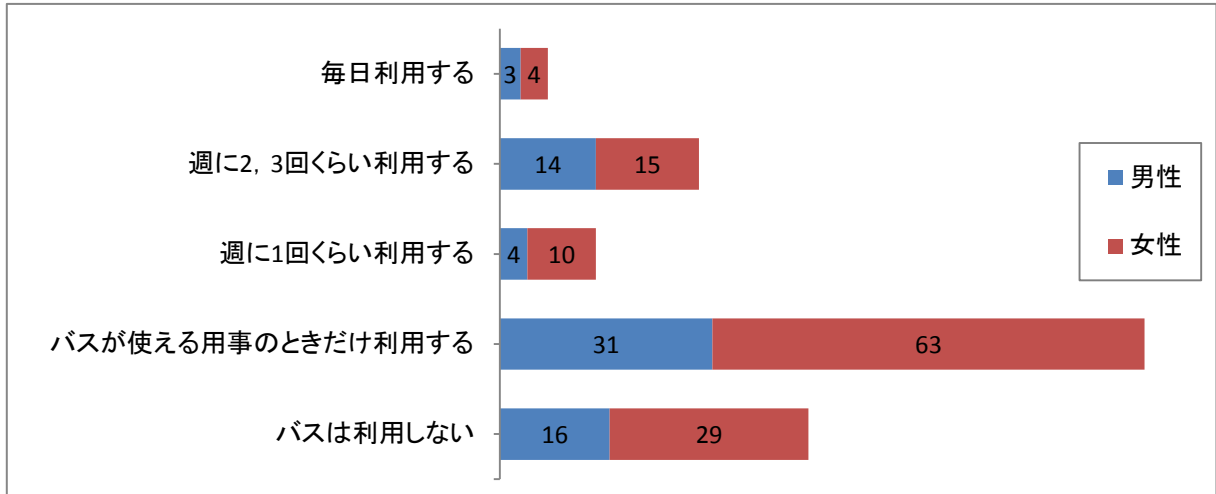
○バスを利用しない方は30代前半から50代前半で特に多い傾向にあります。一方で、70歳以上の方はバスの利用頻度が高いことがわかります。

(2) バスの利用頻度と車の利用状況



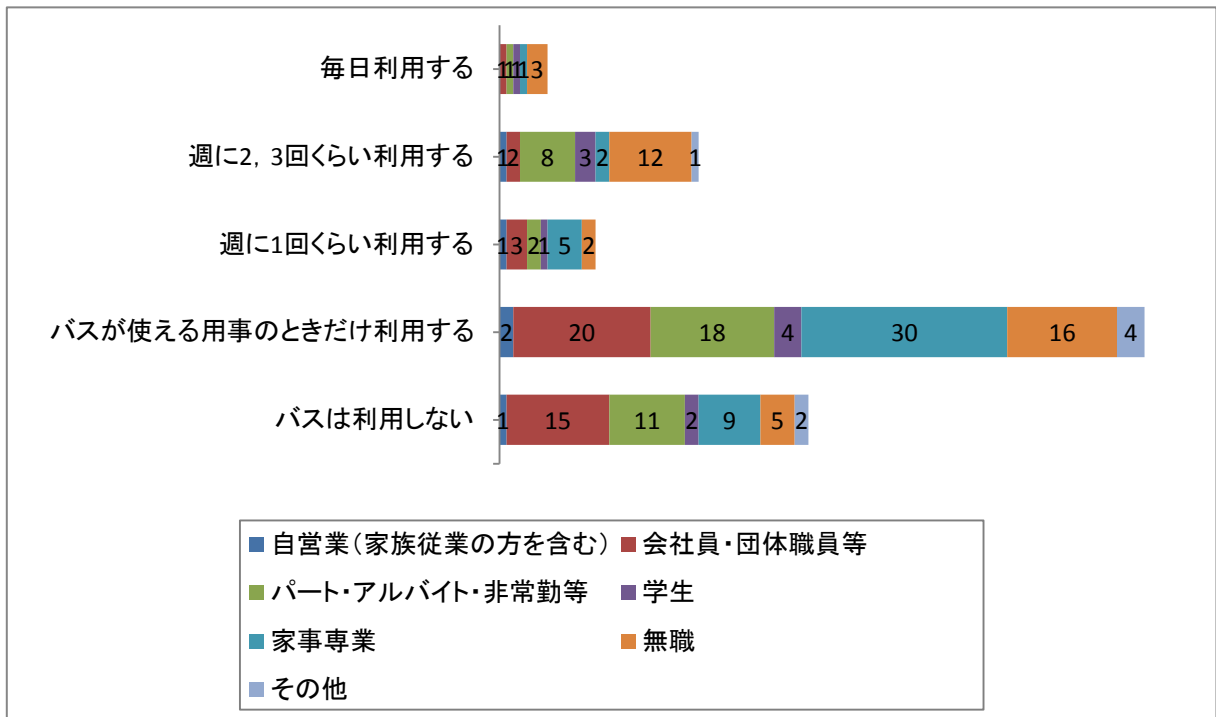
○バスを利用しない方の7割以上が常に車を利用することができる(送迎を含む)環境にいることがわかります。

(3) バスの利用頻度と性別



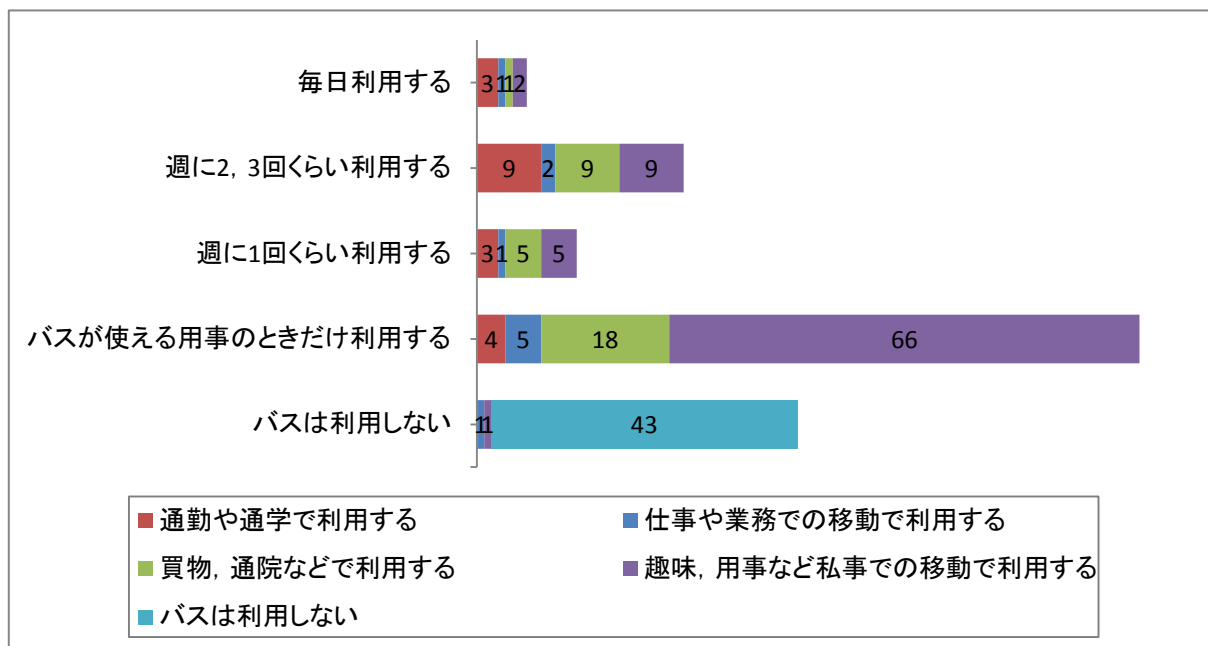
○男性も女性も「バスが使える用事の時だけ利用する」との回答が最も多く、全体の約半数となっています。

(4) バスの利用頻度と職業



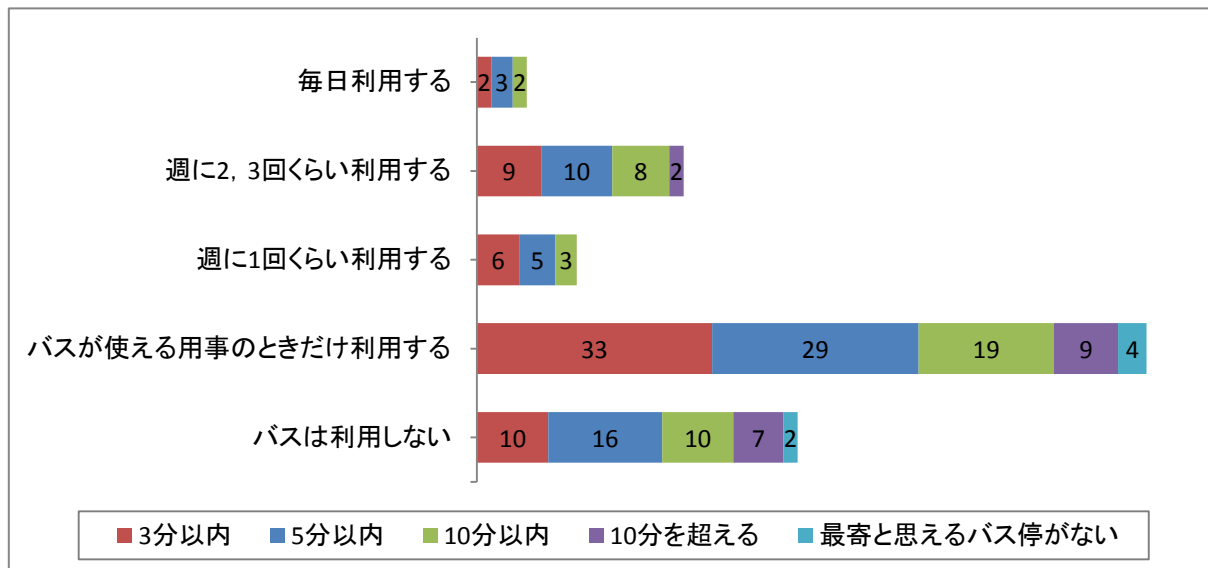
○「バスが使える用事の時だけ利用する」との回答は全ての職業において最も多いことがわかります。

(5) バスの利用頻度と利用目的



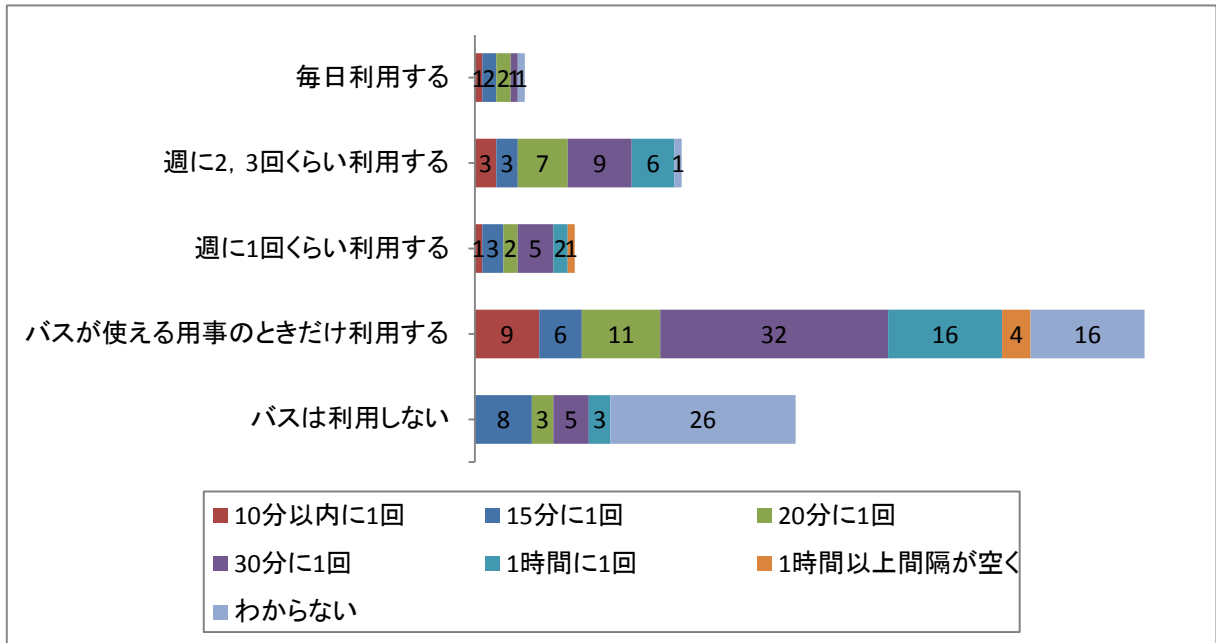
- バスを毎日利用する方は、通勤や通学目的で利用する方が最も多いことがわかります。
- バスが使える用事のみだけ利用する方は、趣味や用事など私事で移動で利用する機会が最も多く、買物・通院などでの利用と合わせると9割を超える結果となっています。

(6) バスの利用頻度とバス停までの所要時間



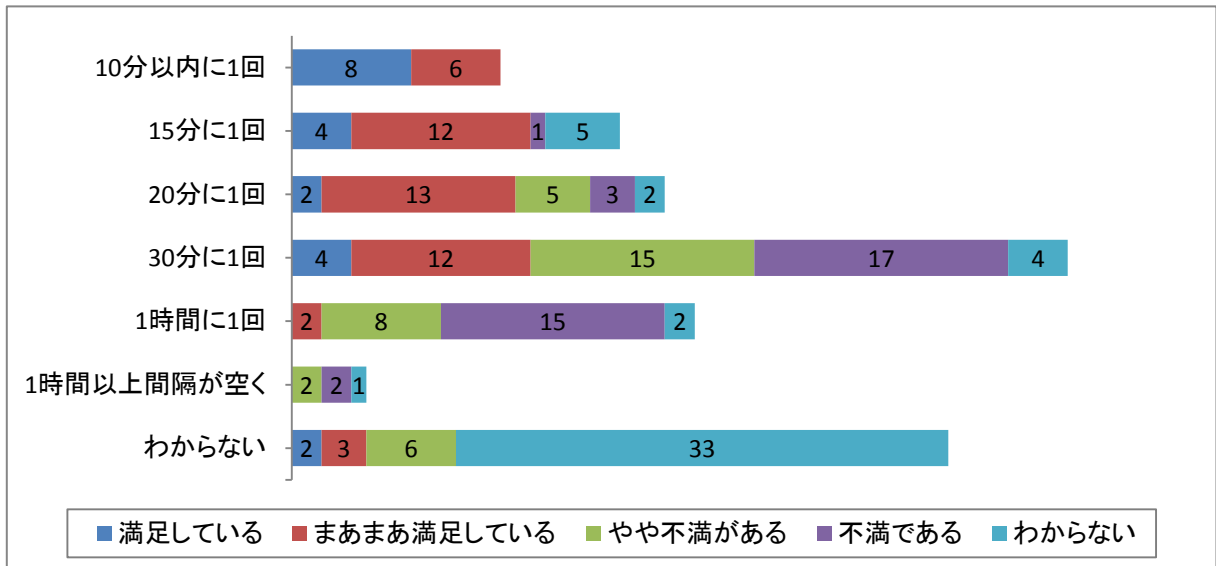
- バスを毎日利用する方は10分以内にバス停があり、バス停まで歩く時間が10分を超える場合や最寄と思えるバス停がない場合はバスを利用する機会が少なくなっています。
- バス停まで歩く時間を5分以内と回答した方は全体の約3分の2、10分以内と回答した方は全体の約9割となっています。

(7) バスの利用頻度と現在のバスの運行頻度



○「バスが使える用事のみだけ利用する」及び「バスは利用しない」と回答した方の中には、バスの運行頻度についてわからないと回答した方が多いことから、バスの利用頻度が低いほど運行頻度を認知していないことがわかります。

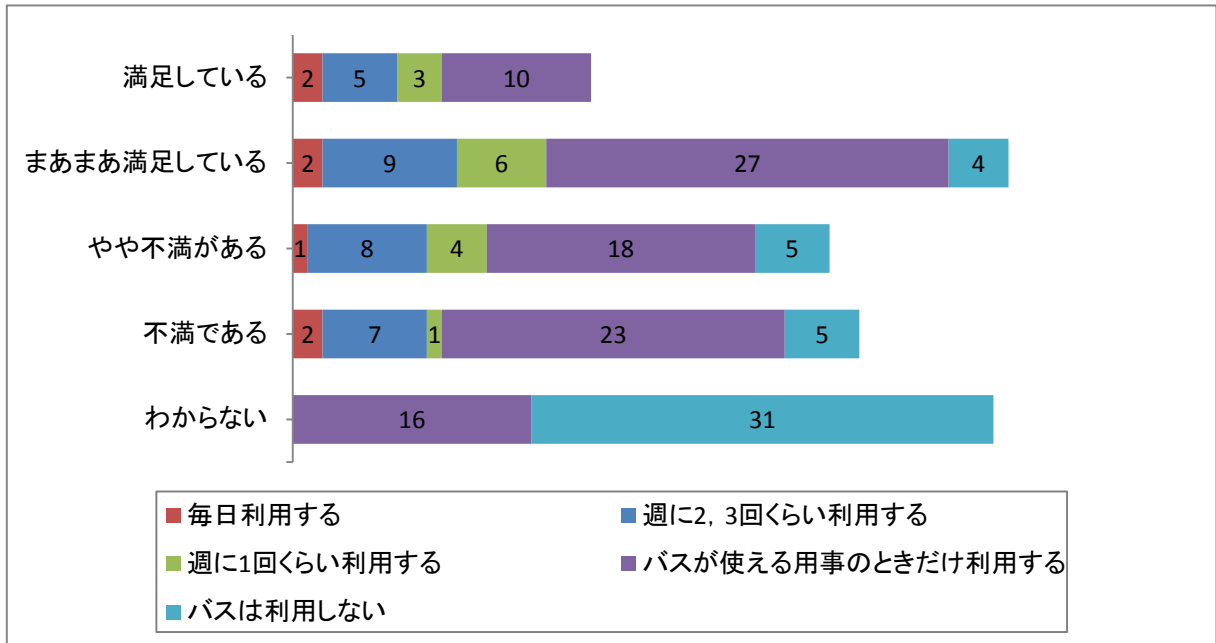
(8) 現在のバスの運行頻度と満足度



○運行頻度が10分以内に1回と回答した全ての方、15分に1回と回答した約7割の方が満足しているとの結果となっています。

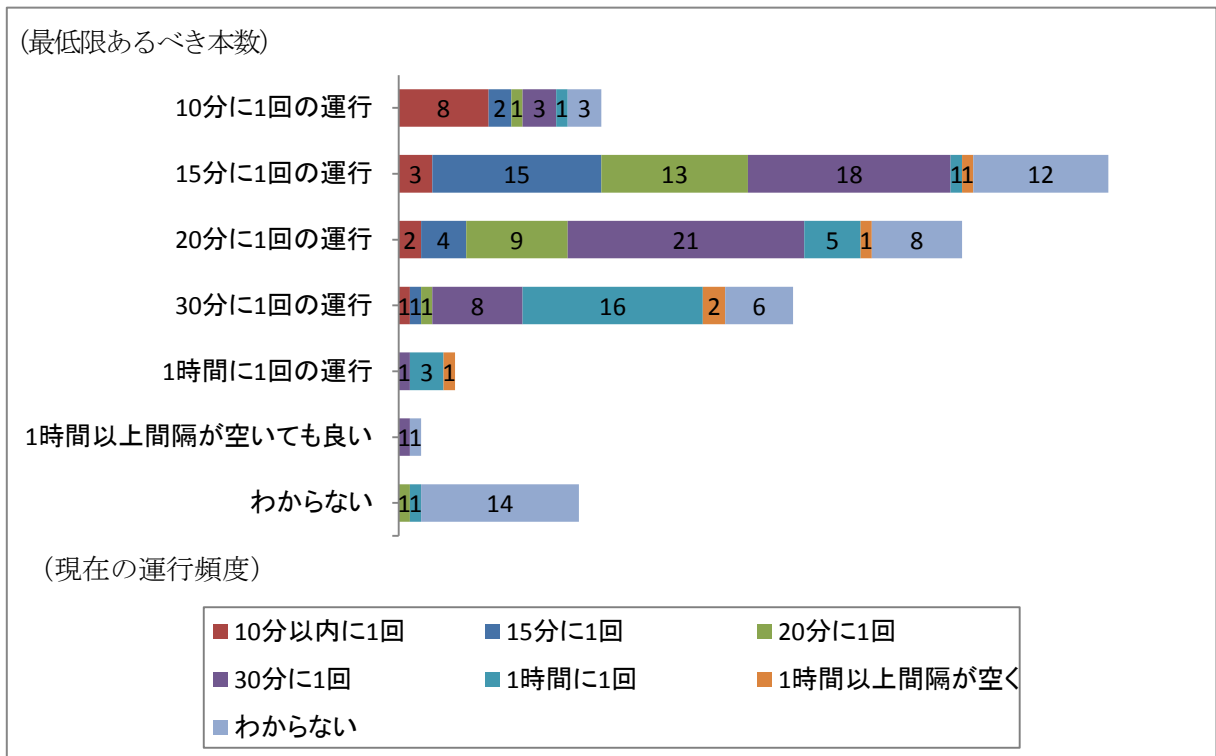
○バスの運行頻度が30分に1回より少ないと、不満を感じている方の割合が満足している方の割合を上回ることがわかります。

(9) バスの運行頻度の満足度と利用頻度



○バスの運行頻度に「満足している」と回答している5割の方は、週1回以上バスを利用していることがわかります。

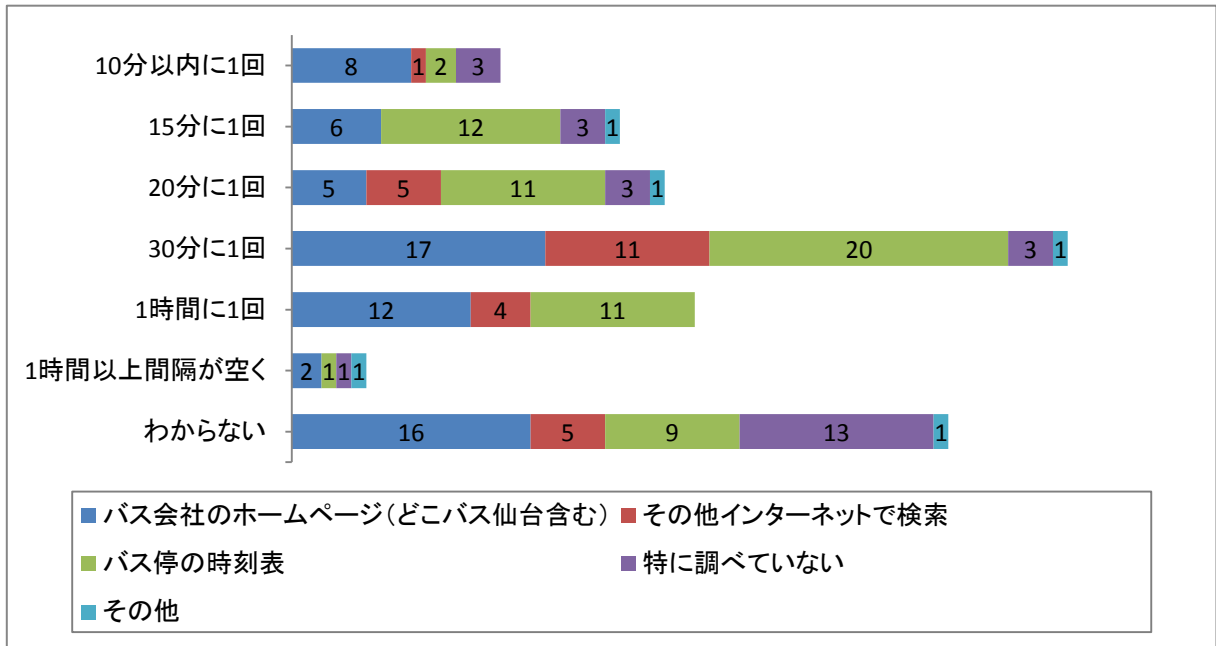
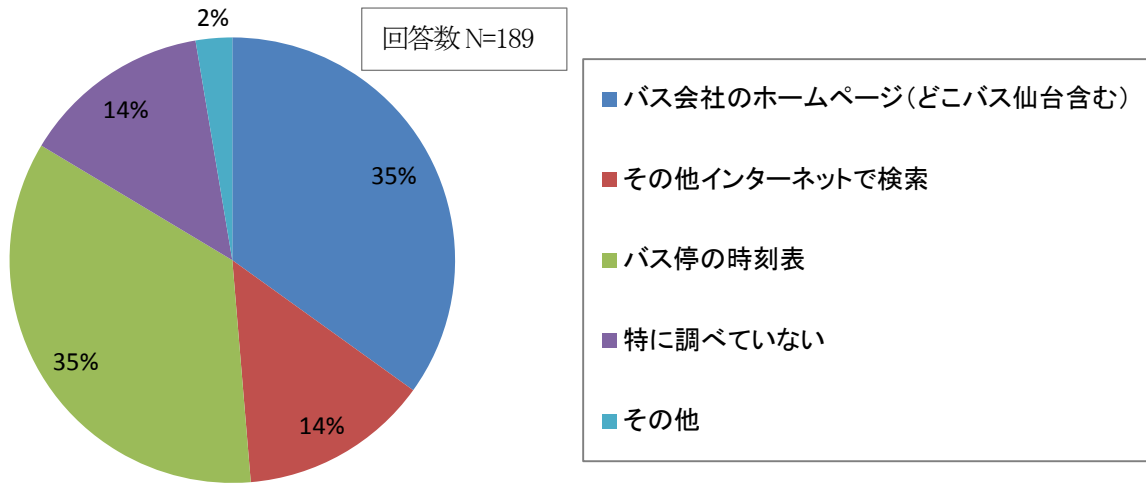
(10) バスの最低限あるべき運行本数と現在の運行頻度



○現在、運行頻度が短い間隔のバス停を利用している方ほど、求める最低限あるべき運行本数が多くなる傾向にあります。

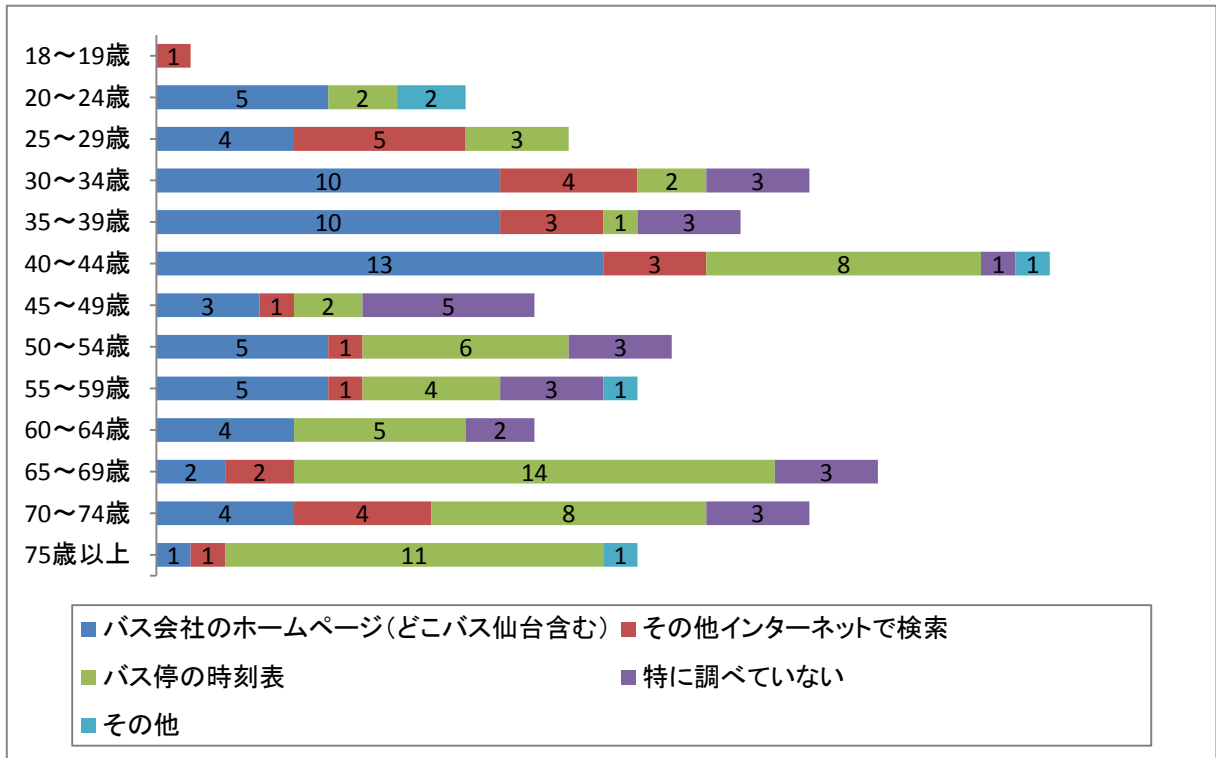
○最低限の運行間隔として約9割の方が「30分に1回の運行」以上と感じていることから、バスを利用しやすい環境としては、30分に1回以上の運行が目安と考えられます。

(11) バスの時刻の調べ方と現在の運行頻度



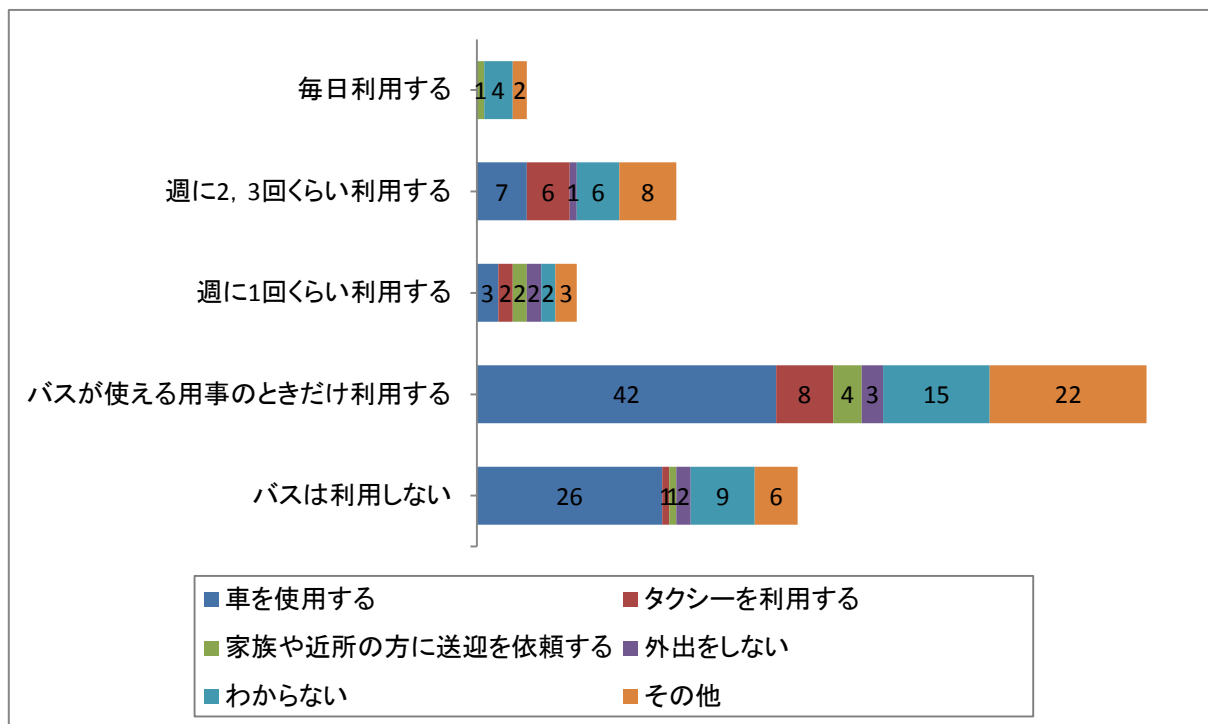
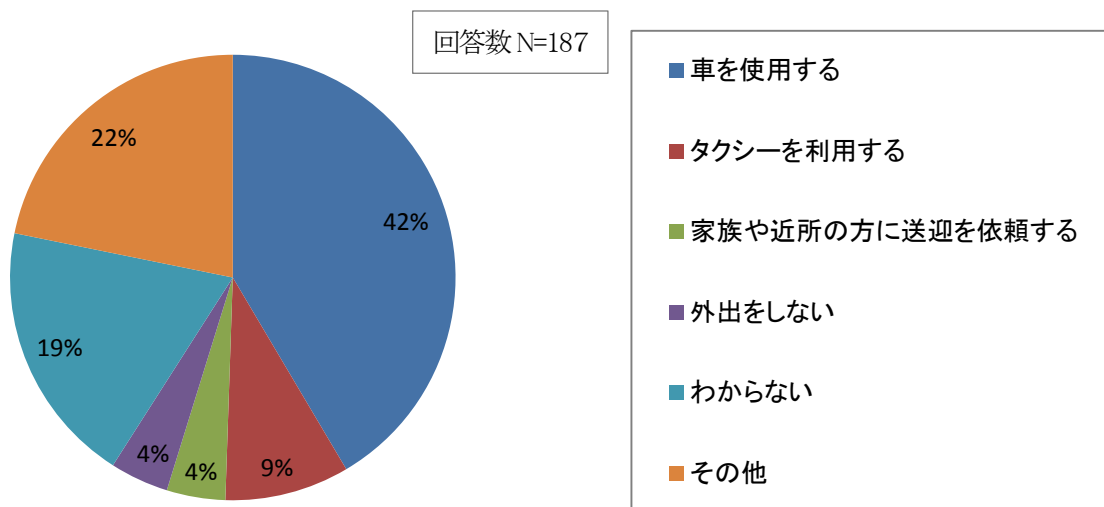
○約半数の方がインターネットにて時刻を調べています。

(12) バスの時刻の調べ方と年齢



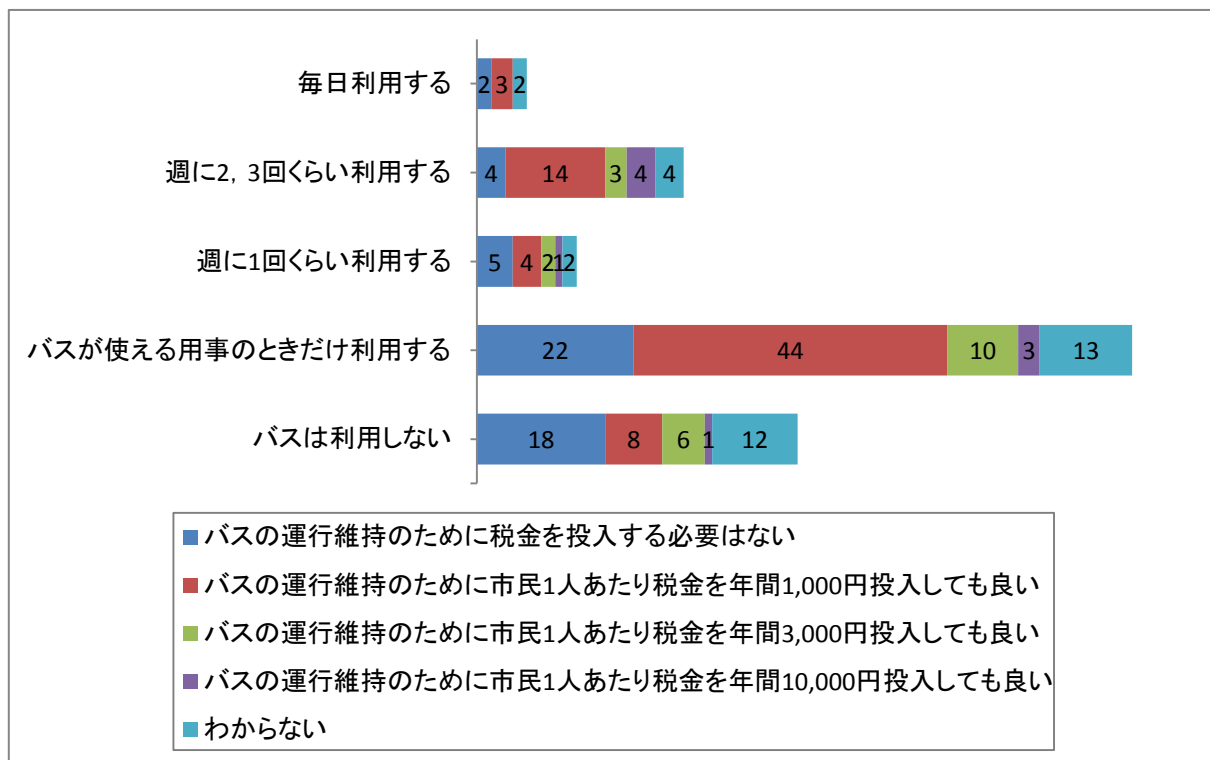
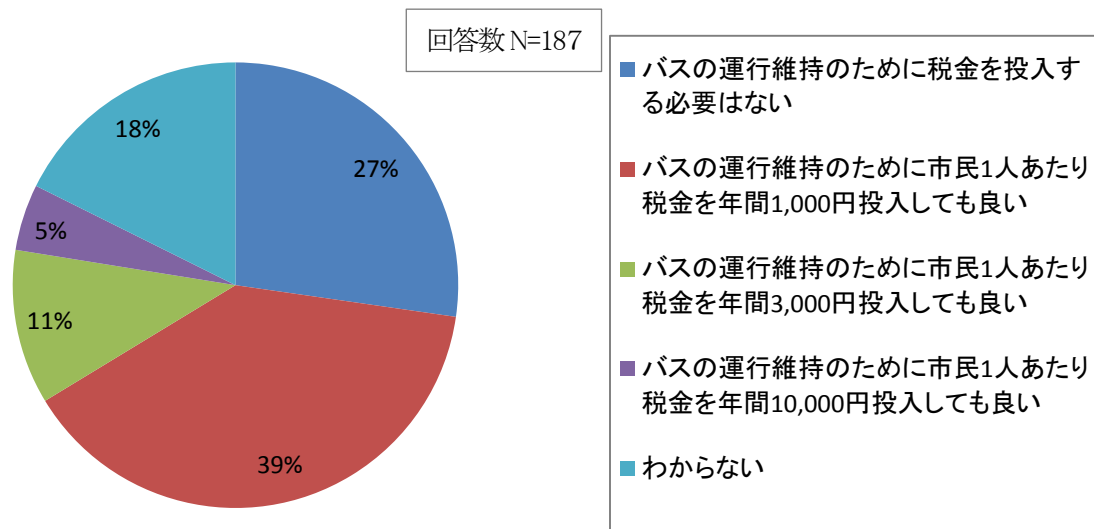
- 10代後半から40代前半の方はバスの時刻をインターネットにて調べる割合が半分を上回っていますが、40代後半以上の方はバスの時刻をインターネットにて調べる割合が半分を下回っています。
- 65歳以上の多くの方はバス停にて時刻を調べています。

(13) バスの廃止と利用頻度



○「週に1回くらい利用する」と回答した方を除いて、バスの利用頻度が少ない方ほど、バスが廃止になった場合の代替手段として「車を使用する」と回答した方の割合が多いことがわかります。

(14) バスに税金を投入することへの意向と利用頻度



○全体の半数以上の方がバスの運行維持のために市民1人あたり税金を年間1,000円以上投入しても良いと回答しています。

○バスを利用しない4割の方が「バスの運行維持のために税金を投入する必要はない」と回答しています。

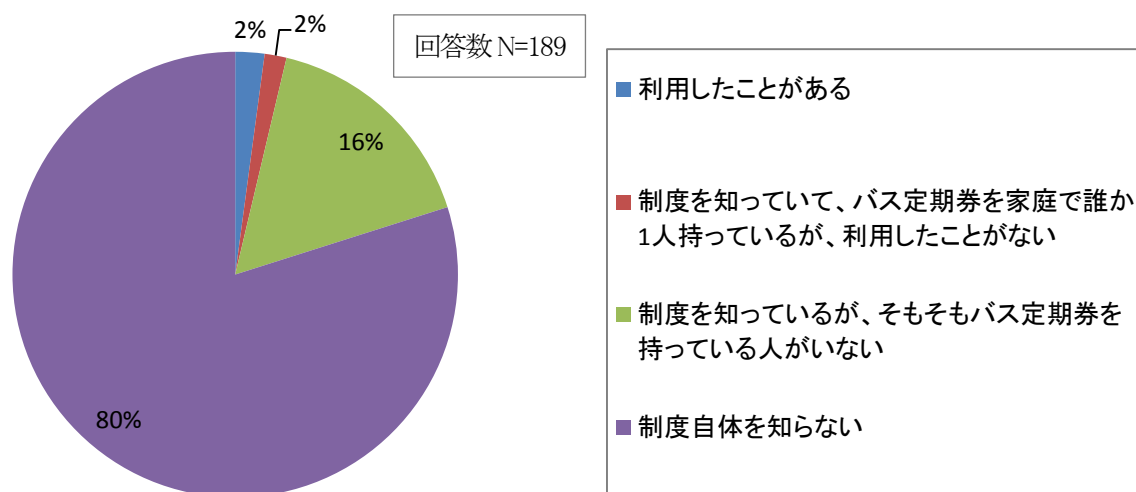
ま と め

- ・ 利用者が最低限の運行頻度として少なくとも30分に1回以上を求めていることがわかりました。
- ・ 約半数の方がインターネットにて時刻を調べていることがわかりました。
- ・ バスの運行維持のために「税金」を投入することについて、全体の半数以上の方が支持する意向を示していただいた一方で、全体の約4分の1の方が支持しない意向を示されました。

2 公共交通利用の際における、お得な制度やサービスについて

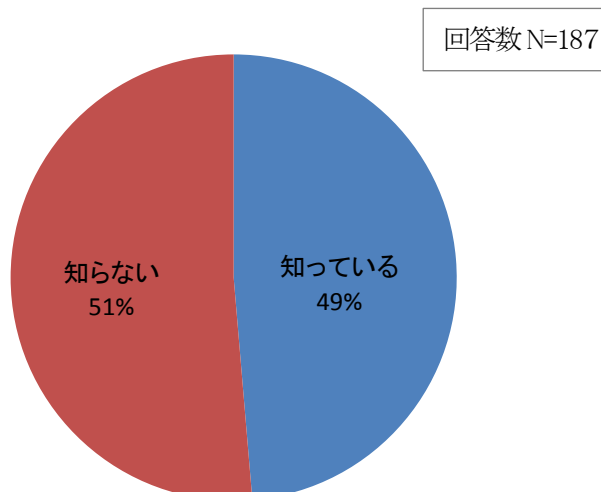
公共交通利用の際における、お得な制度やサービス及び IC カード乗車券の認知度や利用状況に関する質問に回答していただきました。

(1) 「環境定期券制度～休日カルガモ家族～」の認知度及び利用状況



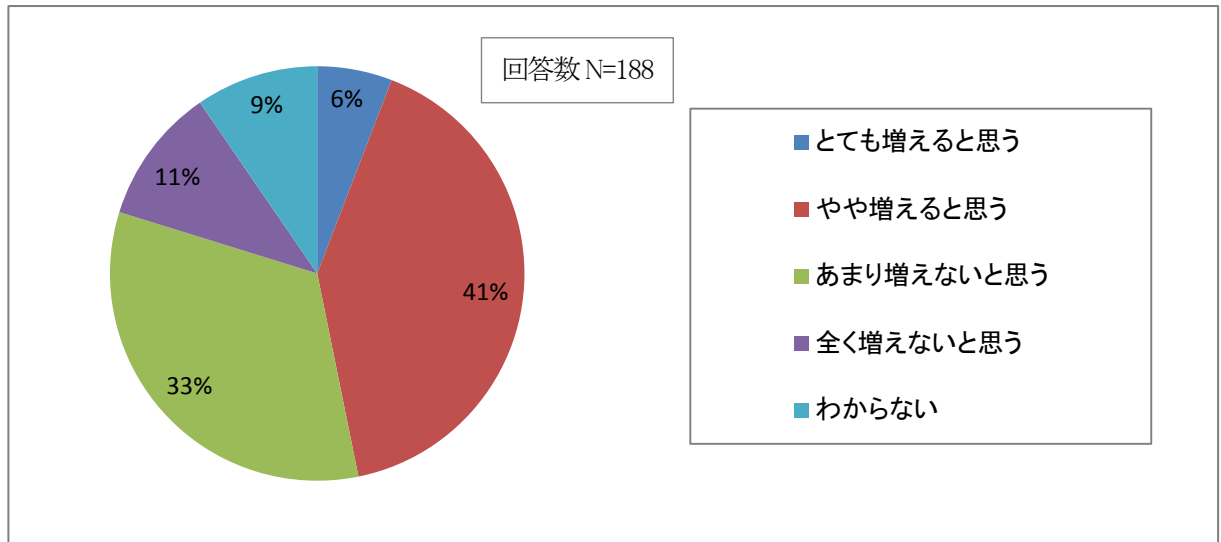
○利用したことがある人が2パーセントにとどまり、80パーセントの方が本制度を知らないことがわかります。

(2) 「地下鉄200円均一運賃」の認知度



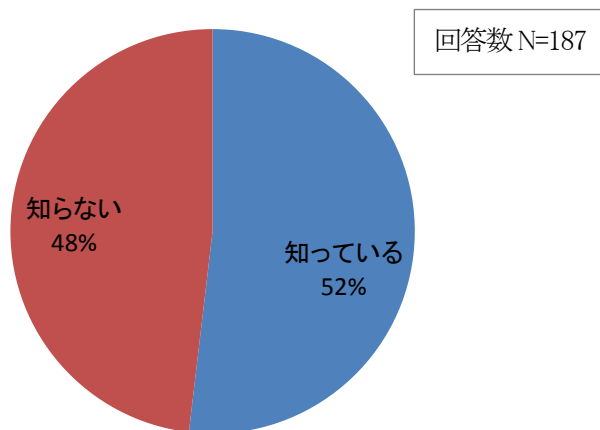
○本制度の認知度はおおよそ半分であることがわかります。

(3) 「地下鉄 200 円均一運賃」による利用者増加の寄与



○「やや増えると思う」と回答した方が全体の約 4 割と最も多かったが、本制度が利用者増加に寄与すると考えている方は全体の半分にも満たないことがわかります。

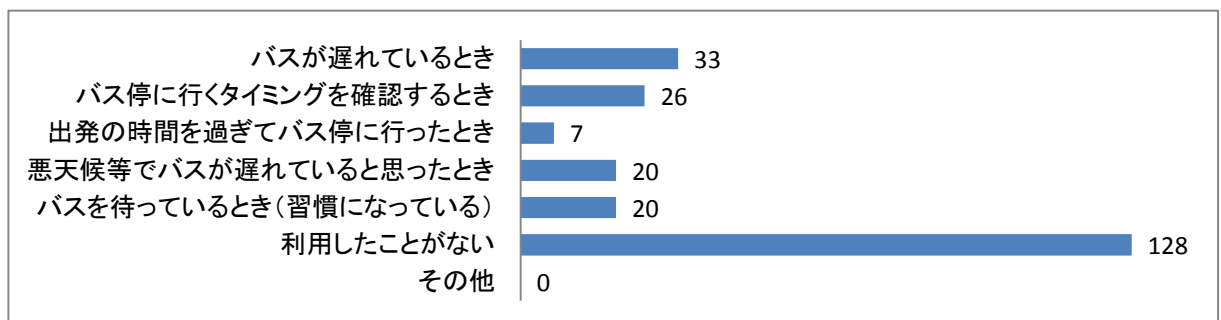
(4) 「どこバス仙台」の認知度



○本サービスの認知度はおおよそ半分であることがわかります。

(5) 「どこバス仙台」の利用状況

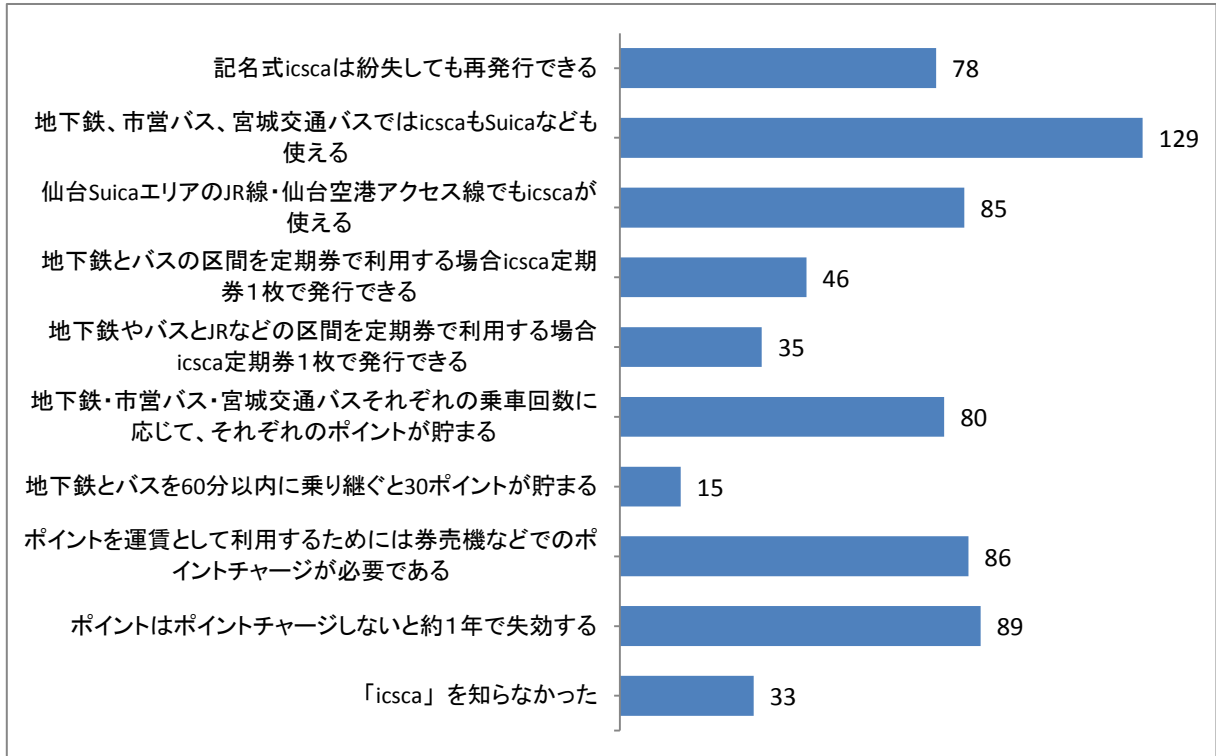
(※利用している状況すべて選択可) 回答数 N=234 (185 人)



○どこバス仙台を利用したことがある方はバスが遅れているときに最も多く利用しています。

(6) ICカード乗車券 icasca の各種サービスや制度等についての認知度

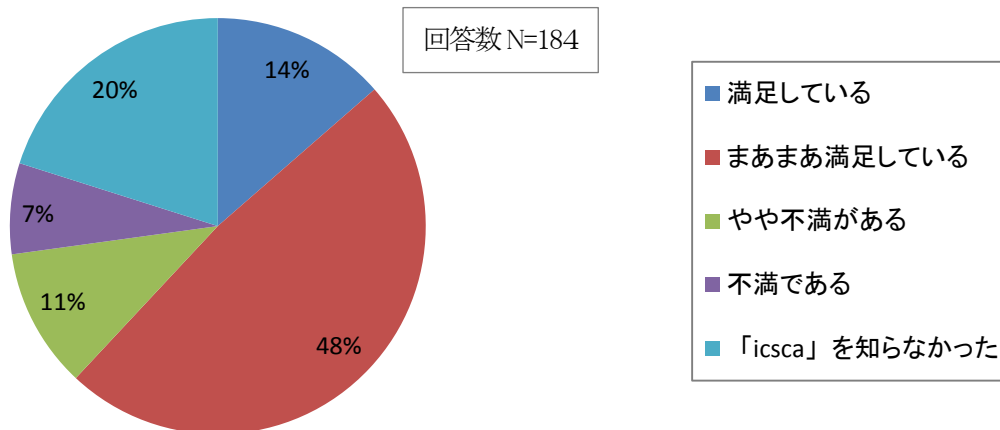
(※知っている項目すべて選択可) 回答数N=676 (187人)



○「地下鉄、市営バス、宮城交通バスでは icasca も Suica など使える」については 7 割弱の方が知っており、最も多く認知されていましたが、「仙台 Suica エリアの JR 線・仙台空港アクセス線でも icasca が使える」を知っていると回答した方は半数以下となっており、差があることがわかります。

○昨年度と比較すると、「ポイントチャージ」に関する認知度が 1 割以上上がっています。

(7) ICカード乗車券 icasca に対する満足度



○ICカード乗車券 icasca を認知している 8 割弱の方が満足しています。

ま と め

- ・ お得な制度やサービスについての認知度は、IC カード乗車券 icsca の認知度と比較して低いことから、今後更に情報発信が必要であることがわかりました。
- ・ IC カード乗車券 icsca の満足度が 8 割弱と高いことがわかりました。

3 「仙台ナンバー」への図柄入りナンバープレート導入について

平成30年10月頃より導入が予定されている「仙台版図柄入りナンバープレート」の図柄案を決定するための質問に回答していただきました。

(1) デザイン案について（導入できる図柄は地域ごとに1種類）

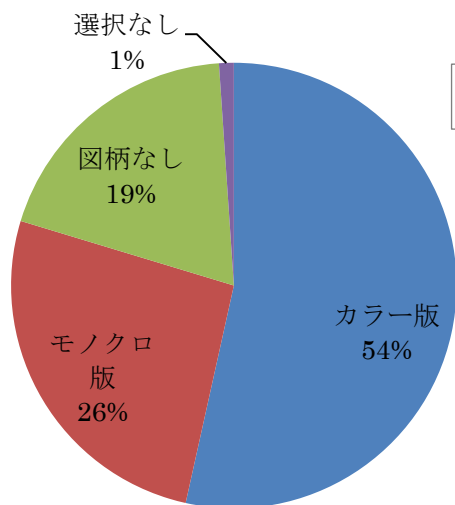
回答数 N=187

項目	図柄案	得票数
A案	 「勇ましく歩みを進める政宗公」	63票 (33.7%)
B案	 「弦月（黒漆五枚胴具足）」	35票 (18.7%)
C案	 「豪華絢爛！仙台七夕まつり」	85票 (45.5%)

※選択なし・・・4件

○C案「豪華絢爛！仙台七夕まつり」が45.5%の支持率で1番人気となりました。

(2) カラー版（1,000円以上の寄付が必要）/モノクロ版（寄付が不要）の選択

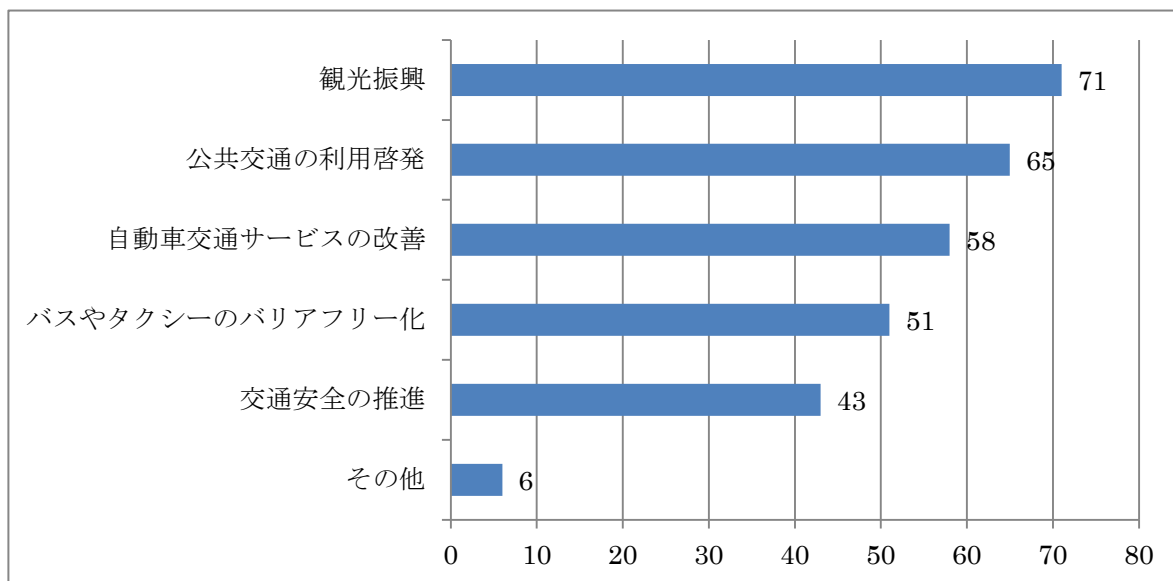


回答数 N=187

○半数を超える方より、「仙台版図柄入りナンバープレートが実現した場合、カラー版を取り付けたい」との回答をいただきました。

(3) カラー版の交付により集まった寄付金の活用方法

(※2項目まで選択可) 回答数N=294 (187人)



○寄付金の具体的な使途として、「観光振興」や「公共交通の利用啓発」への活用が相応しいとのご意見が多く寄せられました。

ま と め

- ・ 市ホームページ上や仙台市博物館等で同時期に実施したデザイン投票等の結果と合計し、仙台版図柄入りナンバープレートの図柄案はC案「豪華絢爛！仙台七夕まつり」に決定しました。
- ・ 決定した図柄案は、平成29年11月29日に仙台市長から東北運輸局長へ提出されました。国による審査の後、平成30年10月頃より導入される予定です。